

中小企業と 女性活躍3.0

— 少数派を弱者に押し込めない多様性社会へ —



秋田 舞美

千葉商科大学大学院中小企業診断士養成コース 教授
秋田舞美のマーケ道 代表/中小企業診断士

女性活躍および多様性への対応は、現代社会における喫緊の課題です。今回は、1986年施行の男女雇用機会均等法前後に就職し、「男性社会」とされる業界で女性活躍の基盤を築いてきた3人の方にお話を伺いました。女性診断士だけではなく、全診断士、そして中小企業が「多様性社会にどう向き合うべきか」というテーマにも触れます。

1, 女性活躍, それぞれの軌跡

秋田：私は20歳の頃から独立しており、今回の座談会では一番の若輩者ですが、診断士歴は20年目になります。これから紹介する女性診断士のお二人は登録から1年目、10年目ですので、診断士歴としてもさまざまな視点でお話が伺えると思っています。私の専門はマーケティングですが、5～10年以上、長期にわたり経営戦略全体を支援している顧問先が多く、千葉商科大学大学院の中小企業